

名山楼詩集版木

【所在地】始良市加治木町仮屋町 250 加治木町郷土館

【種別】県指定有形文化財（書跡）

【指定年月日】昭和 29 年 3 月 15 日



名山楼詩集初稿は、島津重豪の従弟である加治木領主島津久徴の作を伊藤世肅が校訂し、寛政 12（1800）年に刊行した漢詩集である。またその版木は、非常に精刻で知られる薩摩版の例にもれず精刻であり、61 枚が現存していることとあわせて薩摩藩文化史上きわめて貴重なものである。

久徴は幼少から詩文に優れ、この詩集には 15 歳の時の作品も含まれ、錦水（久徴の号）の名は広く藩外にまで知られた。久徴は長崎の儒者伊藤世肅を招き、天明 4 年に郷校毓英館を設立するなど、近世の加治木における文化興隆に力を注いだ。

なお、久徴は加治木の海を「錦江」と名付けたといい、現在の「錦江湾」のおこりとされている。